

2016 年度 人間福祉スーパービジョンセンター 年次報告

はじめに

2017年2月4日、第19回ピア・スーパービジョンが、4号館4階4402教室で開催された。特別研究期間を終えて数日前に帰国したばかりの相川章子先生がご講演をされた。

ふり返ってみると、2008年3月1日に、「聖学院大学 人間福祉スーパービジョンセンター」発足を、埼京線北与野駅前にあった「新都心ビジネス交流プラザ 聖学院大学教室」で開催して以来、9年の年月が経過した。

当時、「ソーシャルワーク」の現場で働く本学の卒業生から、個人的に多くの相談を受けていた相川章子先生から、卒業生が大学を訪れ、遠慮なく相談できるような場を作りたいと言う熱心なご要望がだされた。幸い、本学にはこの分野の先達である柏木昭先生をはじめ、牛津信忠先生、さらに助川征雄先生、田村綾子先生も本学教員として加わった。さらに、非常勤講師として本学の教育にご支援いただいた、大野和男先生、行實志都子先生、廣江仁先生などの先生方も、スーパーバイザーとして、あるいは講演者などとしてご支援いただいている。

本センターの記録は、年度毎の冊子として、あるいは、聖学院大学総合研究所紀要（例えば2014年No.59, P.120-129, 2012, 2013, 2014の報告）、同NEWSLETTER（Vol.26, No.1、2015年度年次報告）などに収録されている。早々に、そのリストを作成しようと思い、資料を集めていたが、やはり、引越しの混乱によって、一部は手元に見当たらない。機会があれば、その整理もできればと思っている。

創立以来、事務局研究支援課スタッフの皆様には、多くの業務の中で、SVCの運営に、多くのご支援をいただいていることを、特に感謝申し上げたい。

2017年3月

聖学院大学 人間福祉スーパービジョンセンター
長 中村 磐男

I. 事業概要

1) 目的

社会福祉の現場では、日々、さまざまな戸惑い、失敗、ゆれに直面することは少なくない。その結果、不安を抱えて仕事を続けることになり、孤立する人、未来を描けない人も少なくない。これらの壁を乗り越え、燃え尽きない（バーンアウトしない）ための方法として、「スーパービジョン」がある。スーパービジョンとは、スーパーバイザー（熟練したソーシャルワーカー*）が、スーパーバイジー（経験の浅いソーシャルワーカー）に対し、その人の能力が最大限に引き出され、活用されるように支援するものである。具体的には、困難状況や事例に対する関わり方、不安や戸惑いに耳を傾け、受容し、有効なアドバイスをするものである。

*熟練したスーパーバイザーとは、(社)日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザーとして精神保健福祉士国家資格を有する者などを言う。

2) 実施体制

＜スーパービジョンセンター委員＞

センター長：中村磐男 聖学院大学人間福祉学部
特任教授

委員長：牛津信忠 聖学院大学大学院人間福祉研究科客員教授

委員：柏木昭、助川征雄、相川章子、田村綾子、木下大生

3) プログラム

○個別スーパービジョン

スーパーバイザーによる個別のスーパービジョン（原則毎月1回程度）

○グループ・スーパービジョン ※2016年度は開催定員に満たず中止となった。

スーパーバイザーによるグループ・スーパービジョン（毎月1回）

○研修交流会 ピア・スーパービジョン（年2回開催）

主にスーパービジョンに関する実践理論の勉強や経験交流の場を提供する研修会

○スーパーバイザー支援制度、同グループ版

すでにスーパービジョンを行っている人々をサポートする制度

<場所> 聖学院大学 他

<スーパーバイザー>

柏木 昭 聖学院大学名誉教授、聖学院大学総合研究所名誉教授、社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター顧問

助川征雄 聖学院大学大学院人間福祉研究科客員教授、精神保健福祉士

相川章子 聖学院大学人間福祉学部人間福祉学科教授、精神保健福祉士

田村綾子 聖学院大学人間福祉学部人間福祉学科教授、公益社団法人日本精神保健福祉士協会副会長・認定スーパーバイザー、精神保健福祉士、社会福祉士

木下大生 聖学院大学人間福祉学部人間福祉学科准教授、社会福祉士

大野和男 NPO法人精神障害者のあすの福祉をよくする三浦市民の会びあ三浦理事長、社団法人日本精神保健福祉士協会相談役、元聖学院大学非常勤講師、社会福祉士、精神保健福祉士

行實志都子 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科准教授、元聖学院大学非常勤講師、社会福祉士、精神保健福祉士

廣江 仁 社会福祉法人養和会 障害福祉サービス事業所あんず・あぷりこ施設長、元聖学院大学非常勤講師、精神保健福祉士

（2016年度現在）

II. 事業実績

1) スーパービジョンセンター委員会

第1回委員会：5月25日（水）11：30-12：30

場所：4号館4405室

出席者：柏木昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、田村綾子、相川章子、木下大生

事務局：木下元、辻本修、小野逸穂（記録）

第2回委員会：7月27日（水）11：30-12：30

場所：4号館4405室

出席者：柏木昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、相川章子

欠席者：田村綾子、木下大生

事務局：木下元、辻本修、小野逸穂（記録）

第3回委員会：10月19日（水）11：30-12：30

場所：4号館4405室

出席者：柏木昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、木下大生

欠席者：田村綾子、相川章子（特別研究期間）

事務局：木下元、辻本修、小野逸穂（記録）

第4回委員会：1月25日（水）11：30-12：30

場所：4号館4405室

出席者：柏木昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、田村綾子、木下大生

欠席者：相川章子（特別研究期間）

事務局：木下元、辻本修、小野逸穂（記録）

第5回委員会：2月15日（水）11：30-12：30

場所：4号館4405室

出席者：柏木昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、

相川章子、木下大生

欠席者：田村綾子

事務局：木下元、辻本修、小野逸穂（記録）

2) スーパービジョン事業

(1) 聖学院大学グループ・スーパービジョン

6月より予定し参加者を募集していたが、開催定員に満たず中止となった。

(2) スーパーバイザー支援制度グループ版<柏木昭>

○横浜市戸塚区 男女共同参画センター横浜 通称「柏木サロン」原則第4火曜日

総括

①スーパーバイザー支援制度実施概要

神奈川県内の日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザー（SVR）の有志がスーパービジョンの充実を図り、年間数回のグループスーパービジョン（GSV）を実施し、「ワーカー・クライアント関係」におけるソーシャルワーカーとしての自己点検を目的としたグループ討議を行ってきた。筆者は2015年度より、本研究所企画のスーパーバイザー支援制度により、本グループの支援に当たった。2016年度はその第2クールである。

②スーパーバイザー支援制度グループ参加者

| 氏名 | 性別 | 職場 |
|----|----|-------------------|
| A | F | 精神科単科病院 |
| B | M | 精神科クリニック |
| C | F | 地域活動支援センター施設長 |
| D | F | 精神科クリニック |
| E | M | 精神科併設一般科病院 |
| F | F | 市役所高齢者支援課 福祉士事務所長 |

③実施期日

第1回 2016/08/30 台風10号来襲のため中止

第2回 2016/09/27 オリエンテーションとGSV

契約

第3回 2016/10/18 報告者B 主題「等身大の自分で向き合う」

第4回 2016/11/15 報告者D 主題「関係性が膠着状態の未治療患者に対するPSWの関わり方」

第5回 2016/12/20 報告者E 主題「個性が強い副主任への指導に悩む日々」～成長を信じて～

第6回 2017/01/17 報告者A 主題「若手PSWに伝えたいこと」～それぞれの課題を超えて必要になる覚悟～

第7回 2017/02/21 報告者F 主題「独立型ソーシャルワーカーは社会的孤立の状況に手が届くのか?～司法領域における入口支援の実践を通して～」

第8回 2017/03/21 報告者C 主題「本人の気持ちを尊重する事」

第9回 2017/03/28 総括

④方法

19:00から19:30 グループ構成員は持ち回りで、担当ケースについて報告。構成員自身の行ったSVにおけるスーパーバイザーもしくは直接クライアントとの「かかわり」について事例を資料として報告した。メンバーは自身の点検をGSVのグループ過程の中で行うことになるのである。19:30から20:30までを自由討議に充てた。第1回はオリエンテーション。第9回において総括を行った。講師としての筆者は討議について感じたことを率直に伝えた。

⑤まとめ

本グループにおける報告内容は構成員自身のSVRとしてのあり様についての反省を主題としたもの、あるいは直接クライアントとのかかわりについて省察を目的としたものである。このグループに参加する者にとって、ソーシャルワーカーとしての

自己点検を行う機会である。単なる参加ではなく、自らを討議に投入し、最後に本グループで得られた思いを感想文にする。ある回のGSVの次の回には報告者のみならず、筆者を含め、メンバー全員がその回の感想文を提供する。報告者ではない構成員は、報告者の報告から様々な刺激を得る。本グループの筆者の各回の発言やコメントが、構成員にとっての主たる学びの契機ではないことを強調しておきたい。

(3) その他グループ・スーパービジョン<田村綾子>

総括

①さいたま市社協スーパーバイザー養成基礎研修
さいたま市社会福祉協議会が主催して4年度目となる「スーパーバイザー養成基礎講座」は、プログラムを一部リニューアルして開催した。初日はスーパービジョン概論の講義と、講師による模擬スーパービジョンを展開しながら、参加者がグループ演習をするプログラムとし、約2か月間で3回程度のスーパービジョンを職場で実施した後、レポート持参にて2日目のプログラム（グループ演習）に進む形式である。

受講者は例年通り、市内の福祉施設や行政機関等の職員で、管理者や部下の教育に携わる者が多かった。福祉士の有資格者は少ないものの、早期離職を防いで新人や初任者を育成したいとの思いを抱えた者が多く、受講態度は熱心であった。

これまで3年間開催してきたが、スーパービジョン実践の具体的方法が分からず、2日目に参加者が著しく減少する特徴をもっていたが、今年度はさいたま市社協の担当職員との協議を重ね、プログラム中に模擬スーパービジョンを取り入れたことは非常に評判がよく、参加者数も伸びたので効果的であったと考えている。

参加者のグループ討議における意見からは、利用者への責任を果たす使命と、新人職員の燃えつきを防ぐための方策を両立させることに苦慮する中

堅層の苦労がうかがえた。必ずしも国家資格や専門知識を持たない者も採用せざるを得ないマンパワー不足の状況下で、職員がやりがいを感じ向上心を持って研鑽に励めるようにすることは、多くの福祉職場における喫緊の課題であると考えられる。スーパービジョンの実践が現場に根付くことで、こうした課題の解決に寄与できるよう、今後も研修実施に継続的に取り組んでいきたい。

②シロアム会地域活動支援センターかなめにおける職員のスーパービジョン

2016年7月より、本学と縁の深い医療法人が運営する地域生活支援センターかなめ及び北千住旭クリニックの精神保健福祉士5名を対象に、グループスーパービジョンを実施している。職員のうち管理者1名を除き、新人から経験数年までの初任者中心であり、法人としての職員教育の一環として、事例を用いたスーパービジョンをグループで展開している。

職場が同じ者同士であっても、日常的には各自のかかわりを相談したり協議したりする時間は確保しにくいとのことで、この時間を用いて各自の実践を振り返ったり、職場内で話し合うべき事柄に関する協議も行っている。

毎回、担当者から提出される事例レポートを基に討議しているが、事例の支援方法に傾注しすぎることなく、ソーシャルワーカーとしての専門性に基づく振り返り・相互点検の時間とすることを推奨している。結果的に事例提供者以外の参加者からも、参考になったという声が多く、グループスーパービジョンとして順調に進んでいる。

(4) 個別スーパービジョン

<助川征雄>

実施回数：延べ16回

場所：助川研究室

人数：3名

<田村綾子>

実施回数：延べ1回

場所：田村研究室

人数：1名

<相川章子>

実施回数：延べ1回

場所：相川研究室

人数：1名

<大野和男>

実施回数：延べ15回

場所：4号館4405教室他

人数：2名

(5) スーパーバイザー支援制度<田村綾子>

実施回数：3回

場所：田村研究室

人数：1名

(6) ピア・スーパービジョン

①第18回ピア・スーパービジョン 2016年9月24

日(土)10:00～15:30

場所：聖学院大学4号館4階第一・第二会議室

人数：23名(関係者含む総人数)

内容：

第一部 講演「高齢者が日常生活において交流している他者との関係：その分類と把握」

講師 古谷野 亘(こやのわたる) 聖学院大学人間福祉学部長・教授

鼎談 古谷野 亘(発題者)、酒井 貴子(098W024)、南里祐介(103W083)

コーディネーター 深瀬久博(SWnet代表・098W094)

～SWnet主催ランチ交流会～

第二部 ピア・スーパービジョン

導入 深瀬久博(SWnet代表・098W094)

グループディスカッション

総まとめ 柏木 昭(聖学院大学名誉教授・総合研究所名誉教授・人間福祉スーパービジョンセンター顧問、社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長) 総合司会 山田裕太(SWnet 98W)

②第19回ピア・スーパービジョン 2017年2月4日(土)10:00～15:30

場所：聖学院大学4号館第一・第二会議室

人数：30名(関係者含む総人数)

内容：

第一部 講演「ピアサポートとコミュニティインクルージョン-アメリカの実践および研究から-」

講師 相川章子(あいかわあやこ) 聖学院大学人間福祉学部人間福祉学科教授

鼎談「講演を受けて、日々の実践にてらして」相川章子(発題者・コーディネーター)、田中光太郎(107W063)、木下優輔、(109W038)、長谷川瑞紀(113MW006)

～SWnet主催ランチ交流会～

第二部 ピア・スーパービジョン

導入 相川章子 聖学院大学人間福祉学科教授SWnet

グループディスカッション

総まとめ 柏木 昭(聖学院大学名誉教授・総合研究所名誉教授・人間福祉スーパービジョンセンター顧問、社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長) 総合司会 山田裕太(SWnet 98W)